

平成22年度第1回「健康食品」による健康被害事例専門委員会の報告

1 開催日時・場所

平成22年7月12日 午後6時から午後8時まで
都庁第一本庁舎42階 特別会議室C

2 議 事

(1) 社団法人東京都医師会及び社団法人東京都薬剤師会の各会員への情報提供について

事務局から、平成21年度第2回専門委員会において積極的に情報収集するよう努めるものとされた事例について、各委員の意見を踏まえて文書を作成し、都医師会、都薬剤師会を通じて各会員へ情報提供した旨を報告。

(2) 事例の検討について

平成21年12月1日から平成22年5月31日までに報告のあった24事例について検討。緊急に調査すべきとされた事例はなかったが、積極的に情報収集するよう努めるものとされた事例について、今後、都医師会、都薬剤師会を通じて各会員へ情報提供し、類似の事例を収集することとなる。

(3) 報告事例について

平成18年7月1日から平成22年5月31日までに報告のあった延べ188事例について、次のとおり報告。

なお、報告のあった製品と症状との因果関係は不明。

ア 報告事例の内訳

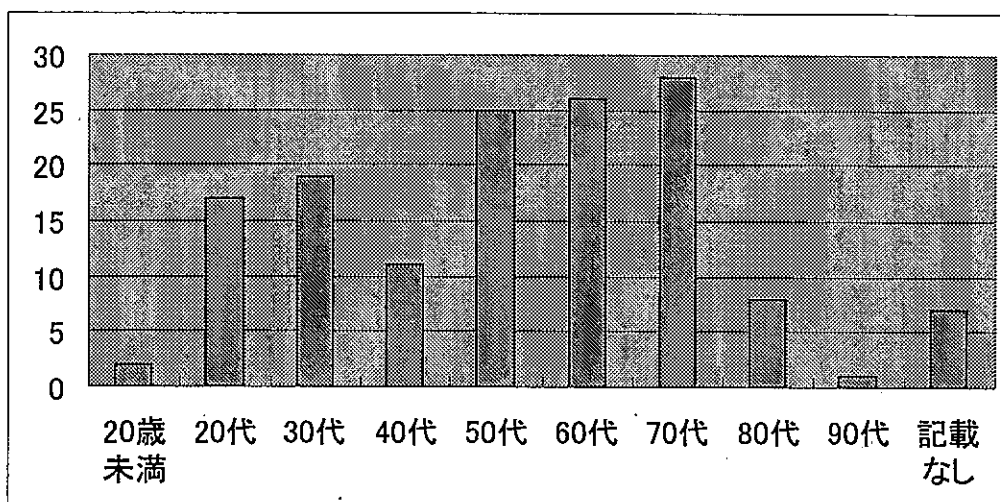
医師会	92人	延べ	132製品
薬剤師会	52人	延べ	56製品
計	144人	延べ	188製品

イ 年齢別人数分布

年齢	患者数	利用目的の主な内訳 (その他・不明・記載なしを除く)
20歳未満	2 ^(※)	健康維持・栄養補給1、ダイエット1
20代	17	ダイエット6、バスタップ2、美肌1、強壮1
30代	19	ダイエット8、健康維持・栄養補給6、美肌2
40代	11	健康維持・栄養補給4、ダイエット2、美肌1
50代	25	健康維持・栄養補給9、関節痛(ひざなど)5、美肌2
60代	26	健康維持・栄養補給7、関節痛(ひざなど)6、ダイエット2
70代	28	健康維持・栄養補給8、関節痛(ひざなど)6、血液をさらさらに3
80代	8	関節痛(ひざなど)3、健康維持・栄養補給2、血液をさらさらに1
90代	1	
記載なし	7	
合計	144	健康維持・栄養補給53、ダイエット23、関節痛(ひざなど)22

(※) 20歳未満の患者は5歳と18歳

人数 (N=144)



年齢別人数分布によると、50～70代の報告が多い。

ウ 性別割合

性別割合によると、女性(102人、71%)の報告は、男性(38人、26%)の2倍以上であった。

東京都食品安全情報評価委員会
「健康食品」による健康被害事例専門委員会 委員名簿

(五十音順・敬称略)

(平成22年7月12日現在)

氏 名	所 属 等
梅 垣 敬 三 (○)	独立行政法人国立健康・栄養研究所 情報センター長
志村二三夫	十文字学園女子大学 人間生活学部長 教授
内 藤 裕 史	財団法人 日本中毒情報センター理事
浜 野 弘 昭	特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構事務局長
原 博	社団法人 東京都薬剤師会常務理事
廣 畑 俊 成	北里大学医学部膠原病・感染内科教授
目 澤 朗 憲	社団法人 東京都医師会理事

(○) 座長